

事業者サウンディング概要

番号	ご意見	年月日
1	●リノベで残すなら、文化施設団体に借りてもらっては。エリア的には良いところだが、一体での活用は重たい。 ●小分けにすれば借り手も出てくるか。てんしばは取り壊しやすい建物を建てている。 ●SPCは年間コストもかかり、人件費・規約が必要。規約は作ってしまうとそれ以外のことはできない。シンプルにやるべき。 ●既存の建物を使ってという条件なら、耐震診断と補強は市ですべき。	2017.2.3
	●コンセプトがないと事業者はどうすれば良いかわからない。 ●一定のお金をかけて外部調査をコンサルにさせてみてはどうか。	2017.3.6
2	●隣の臨スポを運営しているが、スケートのイベント時は大渋滞が発生する。 ●臨スポは老朽化しているが、大阪府が改修し2、3年後に完了。 ●土手をとって旧図書館とつなぎたい。	2017.2.2
3	●健康プログラムの拠点に。 ●ただし、直接運営はしない。運営事業者のサポートやパッケージの提案。	2017.3.8
4	●リゾート的な使い方はどうか。船を横付けして食事にいけるような場所。 ●まずはイベントをやってみるのも良いのでは。アートイベントなど。	2017.1.17
5	●銭湯は店舗数が多い上、若者はお風呂に行かない。 ●お風呂を出したくない場所。人口の円を描いても半円、商圈が通常の半分。 ●屋上で景色を見ながらお風呂に入れることは唯一の利点。 ●耐震を考えると新しく建てた方が安い。 ●老人ホーム、ゴルフの打ちっ放しはどうか。	2017.1.23
6	●サントリーと近畿大学から委託を受け、近代マグロを運営。 ●水辺の飲食店の展開なら、全体のうちの1つとして関わることもできる。 ●海の駅の枠組みに落とし込んで面白。 ●考えていたよりハードルは低いので持ち帰って本社に報告する。	2017.1.26
	●京都・大阪市内への出発点となるプラットフォーム。ポイントガイドンス。 ●健康図書館なら、アブラ図書館の蔵書と別の本を。 ●地域貢献の視点でなら親子連れのメニューも面白い。 ●ただ、このエリアのテナントは採算が合わない。 ●マーケット、客層、コンセプトをどうするのか。 ●5年でイニシャルを回収できる事業に。	2017.3.1

番号	ご意見	年月日
7	●スポーツチームのホームタウンに。 ●南海トラフによる津波のリスクを懸念。	2017.3.15
8	●既存建物を活かすなら美術館・博物館だが、人は集まらないだろう。 ●代表は高石在住、「銭湯はどうか」と。 ●商圈の問題はやり方次第でどうにかなるだろう。 ●マンションの分譲がメインなので、参画は難しい。	2017.3.17
9	●英語村にして、料理や宿泊ができ、英語漬けにすることで留学体験できる村に。 ●一度、現地を見てみたい。	2017.1.20
10	●温泉施設で健康・リラクゼーションを促進し、コミュニティスポットに。	2017.2.13